

INAKEN PRESS

稲津けんご通信

発行元: 稲津けんご後援会 代表: 稲津けんご

〒183-0041 東京都府中市北山町2-26-15

☎: (042)806-9777 Mail: inazu.kengo@gmail.com

URL: www.inaken.gr.jp



曲げない、負けない、あきらめない 2015年3月号

「護憲」のけんごが思う今の日本とは？

稲津けんご(憲護)氏はその名の通り、憲法を守る側(護憲)の立場を貫いています。そして近年、大きく取り上げられている「集団的自衛権」や「憲法9条改正(解釈変更)」などと言ったニュースに大変、心を痛めているところです。この件について稲津氏は、戦争や武力行使が許されたりするとなれば、これまで築き上げた

平和国家像は大きく崩れると懸念しています。また、「武力を持って戦争に参加することは無い」と言う政府や与党の説明を繰り返し見聞きしても、本当にそのようになると思えないとも語っています。そして稲津氏は、これらの件以外にも憤りを覚える政策の実状があるとも危惧しています。

安倍政権が進めるは「多くの人を見捨てる社会」

2月に発表されたGDP(国内総生産)は3期ぶりに増加し、有効求人も増加したと報じられています。しかし、日本経済新聞の世論調査では81%、JNNでは89%の方が「景気回復を実感していない」との回答があるなど、アベノミクスの恩恵を受けたのはごく一部の方のみであると稲津氏は指摘しています。

稲津氏は他にも、介護報酬引き下げや、TPP問題、原子力発電所の再稼働など、不安を増す政策を次々に出しているのが現在の安倍政権であると語っています。特に、原発再稼働問題については、2012年の衆議院選挙で自民党が掲げた公約が嘘だったことを肝に銘じるべきであると非難しています。

「誰も見捨てない地域社会」を府中市から

稲津氏は、国の政治において非常に厳しい現状がある中で、実際に暮らす地方自治体においても現状が厳しいとなれば、基本的な権利である「生きる」ことが困難になると懸念しています。そして、自治体レベルで取り組める事柄から改善を進めていくことも必要であると考えています。

若い世代では、子育てや就学・就職などに、ご高齢の方では医療や福祉制度などで不安を感じる方が多いかと思えます。中間の世代は、それらを支えるにあたっての負担も多くございます。そこで取り残され見捨てられた…とならない「まちづくり」を府中市から始めていきたいと稲津氏は意気込んでいます。

お知らせ

過去の『稲津けんご通信』をホームページからご覧いただけるようになりました!!
メニューバーの「稲津けんご通信」(<http://inaken.gr.jp/press>)からどうぞ。

誰も見捨てない地域社会にするための**政策**を発表

稲津けんご氏はこの3年間、一市民として民間で働きながら、親の介護、地域活動、市民活動などを行いました。それらの経験が今後の府中市政に活かされるためには、福祉と健康、災害対策、子育て支援など「ヒト」への投資と支援が必要と稲津氏は訴えています。

それらの政策について、稲津氏は具体的な案を公表し、1月号では「福祉・健康」、2月号は「災害対策」を取り上げました。今回は「子育て支援」をご紹介します。詳細は稲津けんごホームページでも掲載していますが、その概要をお知らせいたします。

子育て支援

子どもたちの笑顔が輝く社会に

稲津けんご氏は、自身の親の介護を通じて、終末期の家族の寄り添いや医療や介護サービスなど、当事者のニーズに対応した施策を推し進めることを発表しました。また、NPO 法人で緊急支援担当として岩手県釜石市で被災地支援活動を行い、現地での「お茶っこ会」などのイベントを通じて健康問題や仮設住宅に住む方々の心の復興にも取り組んできました。府中市においても、そうした活動に取り組む民間団体との連携やその活動に伴う経済的支援をしていくよう、稲津氏が政策の一環として提言していきます。



保育施設の定員・施設増

保育施設を増やし、子どもの受け入れ体制を整えます。定員と同時に保育士の雇用を増やし、保育に無理の無い環境にします。

待機児童数の削減

年々増加の一途をたどり、平成26年の時点で230名を超えてしまった待機児童数を削減いたします。また、今後「増加」とならない施策も講じます。

在宅保育や保育ママの公的補助

在宅保育や保育ママを保育の窓口として活用し、幼稚園や保育園と同等の保育が受けられるよう支援します。

母親の就業と父親の育児参加支援

子どもを預ける時間に即した雇用を促進し、安心して仕事に専念できる環境を整えます。同時に、父親も育児に参加しやすい府中市にします。

稲津けんご プロフィール



1968年 府中市北山町生まれ
 1981年 府中第七小学校卒業
 1984年 私立和光中学校卒業
 1987年 都立狛江高等学校卒業
 1992年 米国南アラバマ大学 学士号取得
 1998年 米国ピッツバーグ大学修士号取得

1999年 府中市議会議員 初当選
 以来3期12年任期満了
 2012年 一橋大学大学院研究補助員
 2013年 NPO法人 緊急支援担当
 2014年 稲津けんご事務所 開設
 市民生活相談活動に取り組む